美術科　第2学年　シラバス

学期	月	題材名	題材のねらいと学習の内容	時間	観点別学習状況の評価規準 ・主＝主体的に学ぶ態度　・知＝知識・技能 ・思＝思考・判断・表現		評価方法 テスト	ワークシート	作品	提出物	観察
1	4	オリエンテーション	一年の見通しをもつ。	3	主	毎日の生活を豊かに彩る美術の働きに関心を持つ。		○			○
		朝起きてから 夜眠るまでの美術	身の回りにある美術について関心をもたせ，生活を美しく豊かにする美術の働きについて理解させる。		知	おもしろさや意外性などを考えて，構想を練る。	○	○	○	○	
	5	あれ，どうなっているの	目の錯覚などを利用して驚きや楽しさをもたらす作品の工夫や効果を学ぶ。		思	主題にふさわしい表現や表現意図に合った方法を工夫する。	○	○	○	○	
		☆ 言語活動	自分の見方や感じ方を大切にしながら友達と話し合い，お互いの感じ方の違いに気づくなどして交流する。					○			○
	6	空想の世界を旅する	現実にない世界を創造によって作り出す美術の働きに目を向け，平面に表現する。	8	主	想像を膨らませてイメージを作り出すことに関心を持つ。		○			○
					知	感性や想像力を働かせて，自由にイメージを広げる。	○	○	○	○	
	7		自分の表現方法を探しながら想像することのおもしろさや不思議さを他の生徒と共有し合う。		思	主題を理解し、効果的な方法を工夫して表現する。	○	○	○	○	
		☆ 言語活動	作品のよさや美しさを発表し交流する。見方や感じ方を広げて鑑賞する。					○			○
2	9	情景，気持ちを重ねて	日常とは異なる視点から対象を捉えた作品を鑑賞し，「見方を変える」という美術の魅力を理解する。	8	主	対象をよく観察し，その美しさや特徴に関心を持つ。		○			○
					知	さまざまな角度から観察し，創意工夫して発想を広げる。	○	○	○	○	
	10		ありふれたものの中に，これまでとは違う世界を見つけ出して伝えようとする態度を身につける。		思	感じたことを効果的にあらわせるような構図や材料を考える。	○	○	○	○	
		☆ 言語活動	作品のよさや美しさを発表し交流する。見方や感じ方を広げて鑑賞する。					○			○
	11	手作りに込める思い	手作業で作成された作品ならではのよさや美しさを話し合う。	6	主	手づくりならではの魅力に注目する。		○			○
					知	使いやすさや美しさ，楽しさを考えて構想を練る。	○	○	○	○	
	12		造形的な美しさや楽しさなどを総合的に考えてアイデアスケッチし，気持ちを込めて手づくりする。		思	材料の特性を生かして自分の思いを形にする。	○	○	○	○	
		☆ 言語活動	作品のよさや美しさを発表し交流する。見方や感じ方を広げて鑑賞する。					○			○
3	1	情報を整理して伝える	優れたマークや絵グラフの工夫について知り，身の回りの作例を集めて，それぞれの意味と形や色の使い方について比較する	7	主	ひと目で内容が伝わるデザインに注目する。		○			○
					知	多くの人に伝わるように工夫して，表現の構想を練る。	○	○	○	○	
	2		具体的に考え，手がけたことを基に身近な場所で使われるピクトグラムや，美しく意味が伝わりやすい絵グラフなどをデザインする。		思	ひと目で内容が伝わるように形や色を工夫してあらわす。	○	○	○	○	
		☆ 言語活動	作品のよさや美しさを発表し交流する。見方や感じ方を広げて鑑賞する。					○			○
	3	ゲルニカ， 明日への願い	渾身の気迫で作品に命を込む画家のまなざしに触れ，表現の奥深さを味わう。	3	主	作者にとって生きるとはどんなことだったのかを想像する。		○			○
					知	多くの人に伝わるように工夫して，表現の構想を練る。	○	○	○	○	
			感じたことを言葉で表現し，意見を交換することで，考えを深めたり共有したりする。		思	ひと目で内容が伝わるように形や色を工夫してあらわす。	○	○	○	○	
		☆言語活動	作品のよさや美しさを発表し交流する。見方や感じ方を広げて鑑賞する。					○			○
総時数				35							